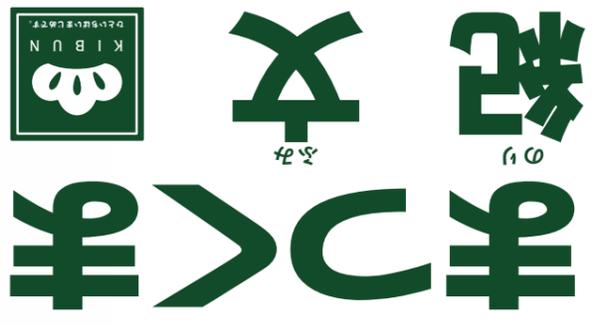




あなたへの想いを市政に見て、聞いて、実行！川西市議会議員



政策提言 2022



こんにちは。
まつ くま のり ぶん
松隈 紀文と申します。

初めての市議会議員選挙におきましては、たいへん多くの皆さまよりご信任ご支持を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。
選挙当時、その是非が問われていました市立川西病院の移転と中学校給食の件につきましては、本年9月に実現する運びとなりました。これからの川西そして皆さまにとって、より住み良いまちへとなるには何が最善かを中心に据えて議論に臨み、一人の議員として皆さまから託されました議決権を確信をもって行使させていただきました。ありがとうございます。
笑顔あふれるまち・一人ひとりが輝けるまち・子どもも大人も誇れるまち・住みつけたいまち川西の創造に取り組む所存です。
これからもご支援のほど、よろしく申し上げます。



施策方針

1 家庭・学校・地域が三位一体となった教育の推進

地域の様々な行事を体験する事により、子ども達の生きる力を育ていけるよう取り組みます。子育て支援や健全育成施策の充実に向けて積極的に推進します。

2 全ての人々が安心して利用できるひとにやさしい道路整備

誰もが安心して利用できる歩道や自転車道、そして一斉に老朽化してきている大規模団地内道路の計画的な整備に努めます。

3 住んでいてよかったと実感する自然あふれる地域の実現

ホタルが飛び、子ども達が川遊び等で自然と触れ合い、親しむことができる、四季が織りなす美しさが溢れる環境の実現に取り組みます。

4 多世代が交流することのできる温もりある福祉の充実

地域と行政が一体となり、幅広く活用できる施設の整備を行い、年齢や障がいの有無に区別なく、子どもから大人まで誰もが温もりを感じる福祉の充実を図ります。

まつくま紀文後援会事務所
Mobile Phone.090-1952-5648 検索 www.m-kibun.com 討議資料
〒666-0142 川西市清和台東4-1-11 TEL.072-799-2358 FAX.072-741-8656 info@m-kibun.com



齋藤元彦兵庫県知事と私たちの宝である子ども達や地域振興など、川西の未来について、熱く語りました。



- 現在の主な役職
- 清和台コミュニケーション協議会相談役 ● 川西市消防団平野部団員
 - 川西市子ども会連絡協議会副会長 ● 大阪工業大学学友会川西支部副幹事長
 - 土地家屋調査士松隈合同事務所代表 ● 川西市議会議員(平成30年初当選)
- 学歴
- 昭和46年4月20日 川西市南花屋敷生まれ ● 加茂幼稚園卒 ● 清和台南小学校卒
 - 清和台中学校卒 ● 猪名川高等学校卒 ● 大阪工業大学(常翔学園)土木工学科卒
- 経歴
- 川西青年会議所専務理事 ● 川西市社会福祉協議会評議委員
 - 川西市消防団平野部団長 ● 川西中央ライオンズクラブ第39代会長
 - 川西市個人情報保護審議会委員 ● 人権擁護委員
 - 川西市要保護児童対策協議会委員

市政への熱い思い...

子育て世代の支援と子どもたちの教育の充実

- ・ 少子化対策に繋がる多子世帯への支援
- ・ 子育て支援施策の更なる展開と拡充(所得制限解除ほか)
- ・ タブレットPC導入に伴うソフト・ハードの更なる運用支援
- ・ 妊娠・出産・子育てから独立まで、ライフステージに応じた切れ目のない支援体制の充実
- ・ 子育てについての悩み相談が気軽にできる場所の充実

環境にやさしい、安全安心なまちづくり

- ・ 登下校時や通学路の安全確保と危険個所の改善
- ・ 「自転車のまち」を実現するための施策展開
- ・ 適正に管理が行われていない空き家(特定空家等の認定)と空き地への取り組み強化

Pick UP!

急速に進む高齢化時代

- ・ 予防施策の充実など高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくり
- ・ 高度医療の充実と医療・介護・生活支援が一体となった地域ケアシステムの構築
- ・ 介護人材の確保に向けて、介護職員の処遇改善
- ・ 適正な障がい者施策による社会参画の促進と共に支え合う地域づくりの実現
- ・ 公共交通の維持と地域内移動手段の模索

Profile



まつくま 紀文の議会活動 [2018年10月から、これまでの成果と継続する取り組み]

川西市議会におきまして、3年目は建設公企委員長として、議案の審査だけではなく持続的な公共交通のあり方について、新人・ベテランの分け隔てなく委員会の皆さまをはじめ、交通事業者様や近畿運輸局からもご理解ご協力を得て1年間、調査研究・研修を重ねさせていただきました。 →

■ 2019年3月の一般質問 KIBUN JOURNAL Vol.2 掲載

子育て世代が暮らしやすいまち川西の創造

日本の未来を担う子どもたちは地域社会全体で育てる必要があると同時に行政の力強い支援が必要不可欠である。少子化に歯止めをかけるには子どもを産み育てることに対する安心を市民が感じられる社会にする必要があるという視点で質問した。

【実現したこと】

中学3年までの医療費が無料(これまでの入院のみに加え通院も)となる、子ども医療費助成の拡充に繋がった。



イメージ

■ 2020年9月の一般質問 KIBUN JOURNAL Vol.8 掲載

スマートな自治体となるための取り組み

行政における手続きや業務がより使いやすく、より便利になるために、マイナンバーカードやICT(情報通信技術)を活用し、①申請書を書かない、書かせない事による住民サービスの向上と職員の業務負担の軽減 ②市道の維持管理業務について、質問した。

【実現したこと】

ICT(情報通信技術)を活用した住民サービスの増加や道路舗装修繕計画の実施に繋がった。



イメージ

■ 皆さまからお寄せいただいた声を市政に届けました。

- どの公園も同じような仕様では地域の魅力が高まらないとの相談から、地域に応じた特色ある公園づくり(アドバイザー派遣)の実施に繋がった。
- 近隣市と比べ遅れている保育士の処遇改善についての相談から、保育士宿舍借り上げ支援の実施に繋がった。
- 成長発達過程において課題のある子ども達も安心して通園できるようにとの相談から、私立幼稚園に対し配慮が必要な児童の受入れ支援の実施に繋がった。
- 交通死亡事故発生の防止についての相談から、抑止につながる「歩行者横断注意」の看板を清和台4丁目交差点に設置した。

4年目となる今期は厚生文教常任委員会に所属しております。主に福祉部、健康医療部及び教育委員会の所管に関する事項を担当する委員会です。幼児教育・保育の無償化によるニーズの変化への対応や私たちの未来の宝である子ども達の学び、健康や福祉についての施策展開など、しっかりと議論を深めてまいります。

■ 2021年3月の一般質問 KIBUN JOURNAL Vol.6 Vol.10 掲載

市立川西病院移転後のまちづくり

市立川西病院の跡地活用として、地域の住民が、住み慣れた地域で最後まで自分らしい生活を続けることができる地域づくりを目指すのであれば、ここに子どもから高齢者まで、また障がいの有る、無いに関係なく人々が集う場所【多世代交流空間の創造】をという視点で質問した。

【これからの課題】

福祉複合施設整備基本計画に多世代交流空間の創造を反映させる。



多世代交流複合施設「アンダンチ」

■ 2022年3月の一般質問 KIBUN JOURNAL Vol.14 掲載

安全安心に住み続けることができるまちづくり

市民が安心して安全に住み続けることができることを中心に据えて、安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害など多岐にわたる空き家問題に対し積極的に取り組むことや特定空家等への議論を更に深めていただくことを質問した。

【これからの課題】

適正に管理が行われていない空き家を無くす施策を積極的に展開する。



イメージ

まつくま紀文 公式サイトに『KIBUN JOURNAL』のバックナンバーを掲載しております。ぜひご覧ください。 [まつくま紀文](#) [検索](#)

- 安全安心に歩ける様にとの相談から、植樹柵の歩道化(公社入口)や歩道の根上がり改修(中央公園前)、歩道石板の浮き上がり修繕(公社団地内・西3丁目・東2丁目・こんにやく橋等)をした。
- 冬季期間の下校時、暗くて怖いと子ども達からのご意見から、自治会や周辺住民の皆様とともに街灯の新規設置(西4丁目)をした。
- 段差や損傷を起因とする振動や騒音の相談から、対策として車道の修繕(鶯台交差点付近・火打交差点)をした。
- 河川転落事故の危険性についての相談から、河川進入転落防止フェンスを設置(御社橋)をした。

地域に根差した幅広い諸活動を皆さまと共に取り組みました。



納涼祭
清和台コミュニティ協議会



もちつき大会
清和台コミュニティ協議会福祉部会



可搬式消火ポンプ月次点検
清和台地区自主防災会



クリーンアップ作戦
清和台自治会



川西中央ライオンズクラブ杯サッカー大会
川西中央ライオンズクラブ



文化財予防デー消防訓練
川西市消防団平野部